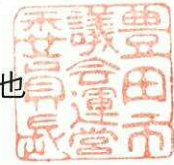


令和4年11月18日

豊田市議会議長 板垣 清志 様

議会運営委員長

木本 文也



委員派遣実施報告書

本委員会は、下記のとおり委員派遣を実施しましたので、豊田市議会委員会条例第37条第1項の規定により、報告書を提出します。

記

- 1 派遣期間 令和4年11月8日（火）から同月9日（水）まで
- 2 派遣場所 8日（火）山形県山形市 議会報の取組
及び内容 9日（水）栃木県宇都宮市 議会改革の取組
- 3 派遣委員 委員長 木本 文也
副委員長 中村 孝浩
委員 羽根田利明 窪谷 文克 北川 敏崇
杉本 寛文 榎屋小百合 岩田 淳
日當 浩介 宮本 剛志
- 4 報告内容 視察報告書のとおり
- 5 随行者 水野 智弘、近藤 啓史

視察報告書【１】

委員会名	議会運営委員会	委員名	木本 文也
視察日時	令和４年１１月８日（火） 午後１時５０分 ～ 午後３時１５分		
視察先・概要	山形県山形市 人口：244,407人（R4.9.1現在） 面積：381.58km ²		
視察内容	議会報の取組		
選定理由	山形市議会は、中核市議会議長会主催の議会報コンクールにおいて、近年、連続して賞を受賞している。本市議会においても議会だより編集委員会が中心となって市民に読んでもらえる工夫をしながら作成をしているが、山形市議会報の工夫している点や作成の過程等を調査することで、これまで以上に読んでもらえる議会だよりの作成に資するものとする。		
豊田市の現状と課題	豊田市議会においても、議会運営委員会の小委員会として議会だより編集委員会を設置し、市民に読んでもらえる紙面づくりを心がけて議会だよりの編集を行っているが、市民に対する調査では、「議会だよりを知っているが読んでいない」が30%、「知らない」が27%という状況である。そこで、より市民に読んでもらえる議会だより作成のために評価の高い市議会の取組を調査、研究する。		
視察概要	1 山形市議会の概要について 2 平成27年の議会報リニューアルについて 3 中核市コンクールへの出品 4 「みちしるべ」の編集方法について 5 議会報作成における今後の課題 6 議会報以外の広報活動		
評価とその理由	・議会報が全面カラー化され、非常に見やすい紙面構成であった ・特に一般質問の記事においては、毎定例会8人が登壇し、質問項目も分かりやすく掲載されていた。また、表紙写真についても地域活動など親しみやすい内容を取り上げていた。 ・予算も十分に措置され、さすがに中核市議会議長会主催の議会報コンクールの受賞される内容であった。		
本市に反映できること	・豊田市議会だよりについて、まずは全ページカラー化に向けて予算措置を検討する。 ・内容についても読みやすいものとし、市民の皆様の興味・関心を高める工夫を行う。		
その他 （意見・課題など）	・全ページカラー化は、中核市議会議長会主催の議会報コンクール受賞のポイントであると思われた。 ・一般質問の掲載については、質問者が毎定例会8人と決まっており、議会事務局職員も8人体制（1人の質問者に対して1人）で掲載事項の調整を行っている。豊田市議会においては、毎定例会20人程度が登壇しており、山形市議会と同様の対応を難しいと思われるが、豊田市議会だよりについては、全ページカラー化から取り組むべきである。		



視察報告書【2】

委員会名	議会運営委員会	委員名	木本 文也
視察日時	令和4年11月9日（水） 午前9時15分 ～ 午前10時45分		
視察先・概要	栃木県宇都宮 人口：515,058人（R4.5.1現在） 面積：416.85km ²		
視察内容	議会改革の取組		
選定理由	宇都宮市議会では、議会改革に取り組むために議会制度検討委員会を設置し様々な項目について検討を行っている。また、宇都宮市議会の議会基本条例に基づき常任委員会による政策討論を実施している。他市議会の活性化の取組を調査することで、豊田市議会のこれまで以上の活性化に資するものとする。		
豊田市の現状と課題	豊田市議会においても議会の活性化や議会力の向上に資する調査研究を積極的に行っているが、さらなる議会力向上のため、豊田市議会では実施していない取組（議会制度検討会議の設置や常任委員会による政策討論など）について調査、研究する。		
視察概要	1 議会改革の取組 2 議会制度検討会議について 3 常任委員会による政策討論について		
評価とその理由	・平成19年から議会制度検討会議を立ち上げ、議員報酬や議員定数などを検討事項として議論を重ねられている。 ・検討事項については、議員自らの立場を含めた内容となっており評価できるものであった。		
本市に反映できること	・豊田市議会の議会改革の検討については、課題等がある場合に特別委員会を設置して議論を行い、提言を行う形式をとっている。宇都宮市議会のように議長の任意組織としての諮問機関の位置づけで議会改革について検討する組織を設置することは、大いに参考となった。		
その他 （意見・課題など）	・宇都宮市議会は平成19年から議会改革に取り組み、ホームページの会議録掲載、議会活性化委員会設置、インターネットによる議会中継など様々な取組を行っており、参考となる点が多かった。 ・まずは、議員自らが現状を再点検し、直すべきは直す姿勢を持つことが重要である。		

